

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 35 週分・8 月 25 日～8 月 31 日)

■今週の主な動向

○新型コロナウイルス感染症の報告数が多い状況です。

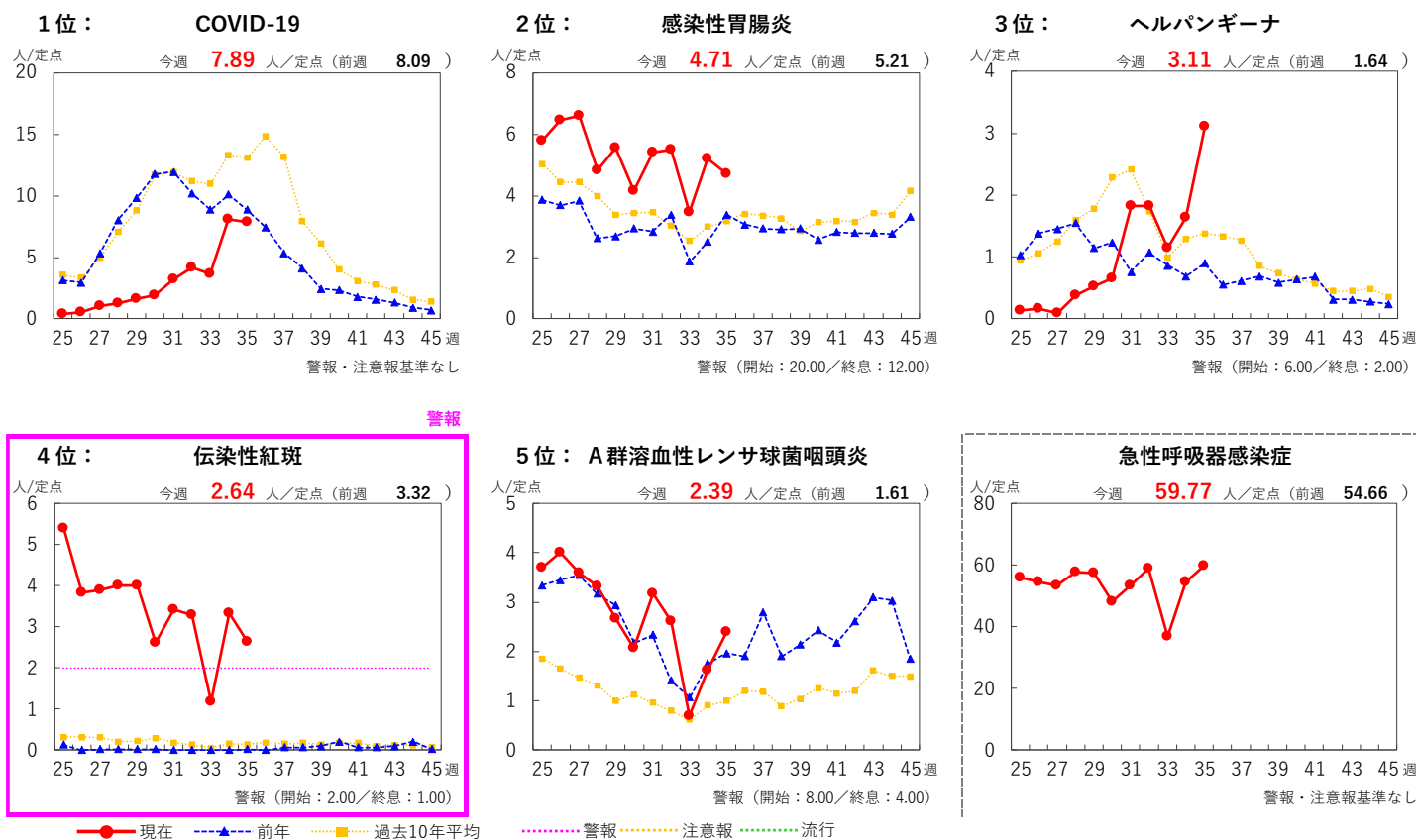
県内の患者報告数は、先週からやや減少したものの、多い状況が続いています。学校再開後でもあり、注意が必要です。手指衛生や咳エチケットなどの基本的な感染対策を心がけましょう
([COVID-19 の疫学所見参照](#))。

○ヘルパンギーナの報告数が 3.11 人/定点となり、先週 (1.64) から大幅に増加しました。

患者の年齢は 1 歳が最も多く、5 歳以下の未就学児がほとんどを占めています。症状として、突然の高熱、口腔内の水疱、のどの痛みや発赤がみられます。小さなお子さんのいる家庭や施設では感染予防を心がけましょう ([第 30 週インフォメーション参照](#))。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症 (第 35 週・8/25～8/31)

厚生センター (保健所) 管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 2 件 (①②共に 90 歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件 (第 34 週診断分: 20 歳代、女性、O157、VT1)
- 四類感染症 E 型肝炎 1 件 (第 34 週診断分: 50 歳代、男性)
- レジオネラ症 1 件 (70 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 梅毒 2 件 (①第 28 週診断分: 40 歳代、女性、無症候 ②20 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期)
- 百日咳 7 件 (①②共に第 34 週診断分 ①10 歳未満、男性 ②40 歳代、男性 ③10 歳未満、男性 ④10 歳未満、女性 ⑤⑥共に 10 歳代、男性 ⑦10 歳代、女性)





県内初のネコの感染を確認！ 重症熱性血小板減少症候群

《 インフォメーション 》

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome; 以下 SFTS）は、SFTS ウィルスが原因のマダニ媒介性人獣共通感染症です。ウィルスはマダニと野生動物の間に生活環が成立しており、マダニからの咬傷でヒトや伴侶動物に感染します。SFTS を発症した伴侶動物からヒトに感染する事例もあります（図 1）。ヒトに感染すると、5～14 日の潜伏期間の後、発熱や消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）が認められ、時に、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴います。患者の約 10～30%が死に至る致死率の高い感染症です。

全国では 2021 年以降、毎年 100 人以上の患者報告があり、今年はずでに 142 人（第 34 週時点）となっています（図 2）。これまでは西日本を中心に報告されていましたが、今年の 7～8 月にかけて東日本でも相次いで SFTS 症例が確認されています（図 3）。今後、ますます全国に拡大する可能性があります。

県内の感染事例については、2022 年 5 月にイヌ 2 頭で、11 月にヒトで初めて確認され、今年 6 月にはヒトの 2 例目が確認されています（[6 月 27 日報道発表](#)）。また 8 月末には県内初のネコの SFTS 症例が確認されました（[8 月 27 日報道発表](#)）。

SFTS の予防には、マダニに咬まれないように肌の露出の少ない服装にすることや、服の上や肌の露出部分にダニ忌避剤（ディート、イカリジン）等を適切に使用することが求められます。また、動物を飼育している場合、過剰なふれあい（口移しでエサを与えたり、動物を布団に入れて寝たりすることなど）を控え、動物に触ったら必ず手を洗いましょう。SFTS を発症した動物の血液、唾液、便、尿を含めた体液から感染性のあるウィルスが検出されています。体調不良の動物の体液と接触しないように注意することも重要です。加えて野生動物はどのような病原体を保有しているかわかりません。野生動物との接触は避けましょう。

図 1. SFTS ウィルスの感染ルート

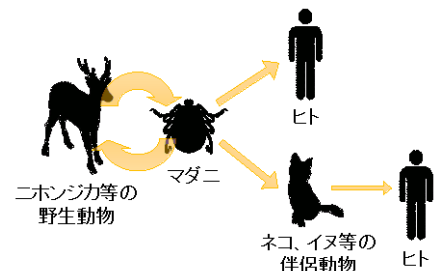


図 2. SFTS 報告数（全国）

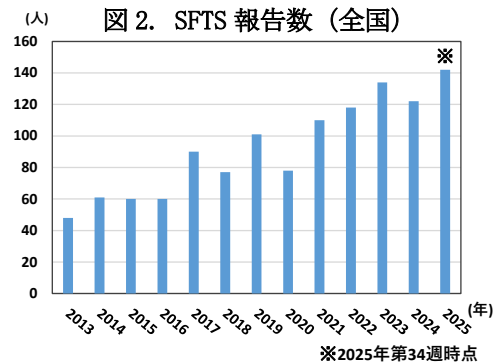
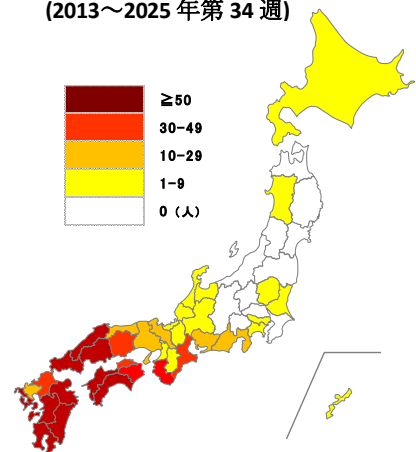


図 3. 都道府県別 SFTS 累積報告数
(2013～2025 年第 34 週)



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第35週 2025年8月25日～2025年8月31日）

分類		疾患	今週報告分（第35週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核			1		1	2	6	2	13	13	35	69	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1		1	2	5	1	9	7	21	43	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	1	3	2	2	10	
	四類感染症	E型肝炎									4			4	
		A型肝炎									1	1		2	
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）										1		1	
		デング熱										1		1	
	五類感染症	レジオネラ症					1	1		1	3	2	11	17	
		アメーバ赤痢										1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1		2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3		6	10	
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）											1	1	
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1			1	2	2	6
		侵襲性肺炎球菌感染症							5			8	3	16	32
		水痘（入院例）							1			1			2
		梅毒	1						1	3	1	3	1	23	31
		百日咳			1		4	5	29	131	139	36	261	596	
	風しん											1		1	
急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	274	280	889	284	1,082	2,809	6,141	5,432	20,727	4,847	25,355	62,502		
		39.14	56.00	68.38	40.57	72.13	59.77								
	インフルエンザ	1	13	4	7	8	33	937	872	1,655	987	1,890	6,341		
		0.14	2.60	0.31	1.00	0.53	0.70								
	COVID-19	68	42	104	81	76	371	1,206	490	1,299	941	1,165	5,101		
		9.71	8.40	8.00	11.57	5.07	7.89								
小児科定点（28定点）	R Sウイルス感染症	2	4	13	4	23	46	39	33	141	46	252	511		
		0.50	1.33	1.63	1.00	2.56	1.64								
	咽頭結膜熱			1		1	2	65	32	279	4	99	479		
				0.13		0.11	0.07								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	4	24	3	33	67	136	230	1,403	184	1,963	3,916		
		0.75	1.33	3.00	0.75	3.67	2.39								
	感染性胃腸炎	23	7	5	9	88	132	946	592	1,419	498	4,141	7,596		
		5.75	2.33	0.63	2.25	9.78	4.71								
	水痘	1	1	2		4	8	10	77	42	17	281	427		
		0.25	0.33	0.25		0.44	0.29								
	手足口病	1		1		1	3	4	8	44	9	49	114		
		0.25		0.13		0.11	0.11								
	伝染性紅斑	6	13	17	3	35	74	99	299	716	115	1,138	2,367		
		1.50	4.33	2.13	0.75	3.89	2.64								
	突発性発しん		1	6	1	4	12	5	21	108	26	120	280		
			0.33	0.75	0.25	0.44	0.43								
ヘルパンギーナ		3	51	10	23	87	21	33	156	25	126	361			
		1.00	6.38	2.50	2.56	3.11									
	流行性耳下腺炎		1				1	2	11	7	8	20	48		
			0.33				0.04								
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99		
	流行性角結膜炎	1		1	1		3	6	18	26	3	2	55		
	1.00		0.50	1.00		0.43									
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1		
	無菌性髄膜炎										1		1		
	マイコプラズマ肺炎			2			2	21	9	31	23	8	92		
			2.00			0.40									
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5			
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242		
	COVID-19による入院患者	5	4	7	2	12	30	110	102	77	134	258	681		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。